

法政大学

景観研究室 vol.08-2022

# 景観

けいかん



# 景観研究室とは

## 景観・景観工学の概念と研究室紹介

法政大学景観研究室は、日々の研究活動に加えてまちあるきやゼミ合宿、そのほか研究プロジェクトや社会活動を通じて、さまざまな人と出会い多様な価値観に触れ、個人・チームとして成長できる研究室です。ここでは、普段私たちが密接に関わっている「景観」、そして「景観研究室」とは何かを紹介いたします。

## 景観とは

皆さんは「景観」という言葉を聞いて何を連想するでしょうか。景色や風景そのものを考える人もいます。景観研究の第一人者である中村良夫は「いうまでもなく景観とは人間を取り巻く環境のながめにほかならない。しかしそれは単なるながめではなく、環境に対する人間の評価と本質的なかわりがある。」と述べています。すなわち「景観を見る」とは目に見えるながめのみを捉えるのではなく、その土地の自然や風土、そしてその土地に生ける人間との間に存在する関係性を読み解こうとする行為なのです。



白川緑の区間（熊本県）

## 景観工学とは

景観に関する学問は土木工事や建築学、造園学など私たちが学んできた工学分野だけでなく、地理学や歴史学、社会学などの人文系分野さらには心理学などの認知科学系の分野にまでわたります。

景観を工学的な観点から考え始めたのは、高速道路が最初といわれています。安全で快適な走行を約束する線形設計や対向車の遮光、視線誘導の効用を持ちつつ道路にうるおいをもたらすことが始まりでした。人々の生活する国土において、構造物をその土地にふさわしく、より使いやすいものにしように考えることが土木工学において景観を考える意義となっています。

つまり、景観工学とは広い分野から私たちを取り巻く環境を考える学問なのです。



浜離宮恩賜庭園（東京都）



行幸通り（東京都）



点の瀬大橋（熊本県）



道央自動車道（北海道）

# 景観研究室とは

## ○ 景観研究室の概要

景観研究室は2012年4月に福井恒明教授が法政大学に着任した際に創設した研究室で、昨年度で10周年を迎えました！現在修士12名、学部生9名の計21名で活動しており、これまでに94名の卒業生を輩出しています。

## ○ 研究内容

研究内容は公共空間の使われ方、街路の印象、空間の認識の仕方、土木のデザイン論、土木の歴史、都市の居場所など様々なものがあります。このように景観を形成する、幅広いテーマから興味を持ったものを選択することができ、自分の研究テーマを考えることも可能です。

研究活動では幅広い視点を身に着けるとともに、自ら考えて行動する力を養うことができます。研究内容の異なる仲間や先輩と、論文ゼミや普段の議論を通して多くの知見、新たな視点を吸収し、自らの研究にも役立てることができます。研究は決して一人で行うものではありません。



学生同士の議論の様子



研究室の環境

4年生になると、1人1人にデスクとPCが与えられ、研究を行います。共有スペースは、研究の相談、議論の場のほか、食事や雑談の場として使われています。



昨年度で10周年を迎えました！！

## 研究室活動



## ○ 景観研究室で得られるもの

景観研究室では日々の研究活動に加えて、研究室の外に出向き、対外的にも多くの活動を行っています。フィールドワーク、催事への参加、景観研究室最大のイベントであるゼミ合宿によって、日本各地に足を運ぶことで貴重な経験が得られます。さらに設計コンペやワークショップへの参加、他大学との勉強会といった外部との交流を経て、様々な視点で、都市・地域の景観を考えるきっかけを得ます。このような様々な活動を通じて自身の知識を蓄積できることはもちろん、物事に対する問題意識や疑問を持つ思考力も醸成させることができます。

地域参加

大学交流

# 年間スケジュール

景観研究室の1年がまるわかり

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ゼミナール	B2 B3				基礎ゼミナール開始 ゼミナール開始 配属		まちあるき	先輩とみる 東京の景観 法大・東大合同 東京見学会	研究室体験 先輩とみる東京の景観 プレゼン発表	小論文講座		
研究活動	B4 M1 M2	卒論・修論ゼミ開始	テーマ決定	仮題目提出	期末報告書 提出 学会論文投稿		中間報告	景観・デザイン研究発表会 土木計画学研究発表会	草稿提出	卒論審査会		製本
研究室行事	新修士決起会 新年度会 おぎゼミ	ゼミ合宿候補地プレゼン	ゼミ合宿開催地決定	ルート・見学地決定	しおり完成 暑気払い	ゼミ合宿 ゼミ合宿事前学習ゼミ	BS 歓迎会 まちあるき	おぎゼミ 先輩とみる 東京の景観 法大・東大合同 東京見学会	忘年会			卒業パーティー
プロジェクト	江戸東京アトラス研究 外濠市民塾 最上川文化的景観 プロジェクト	ワークショップ 沼津市内膳堀 プロジェクト 提出 造園学会コンペ	新潟プロジェクト	郡上八幡水の学校	佐原域学連携 プロジェクト	九州デザインシャレット 造園学会サマースタジオ	景観開花。 提出	ワークショップ 先輩とみる 東京の景観 法大・東大合同 東京見学会	ワークショップ	ワークショップ まちづくり・都市 デザイン競技		エコ地域デザイン研究センター 年度末報告会 提出

# ゼミナール

## 景観研究室配属後最初の行事

景観研究室では、毎年3年生のゼミナールの一環として、研究室全体でまちあるきや見学会を実施しています。まちあるきでは、実際の計画や設計業務に携わった方々をゲストにお呼びし、詳しい解説を伺いながら現地を観察することができます。今回は2021年度に行ったまちあるきや見学会を紹介します。

### 1. 『東京の橋+銀座の裏道ツアー』

EAUの西山健一さんをゲストに迎えて勝どき・月島エリアの橋見学会を行いました。また、最後に日本の一等地である銀座でビルの裏道を回りました。築地大橋や西仲橋といった構造形式や橋長などが異なる様々な橋を見ることでそれぞれ異なる条件や利用者層、環境の違いをどのようにクリアし、より利用者にとって居心地の良く、川と周囲が一体的な空間設計が行われていたことを実感しました。



必要条件を満たしながら心地よい空間が実現している桜小橋

### 2. 『浦安の歴史と水辺』

2020年に引き続き、小野寺康都市設計事務所の小野寺康さんをゲストにお招きし、浦安の猫実川や境川を見学しました。河川の修景デザインは、対象地の課題と歴史、歩行者の利用用途を考えた上で素材の選定や歩行者導線、細部へのこだわりを設計に組み込むことによって実現していることを学びました。



煉瓦を基調としている境川

### 3. 『東京見学会』

東京見学会は、東京大学景観研究室が1991年から継続している伝統的な行事で、2014年からは法政大学景観研究室と共同で開催しています。企画・運営・見学会中の説明を学生が中心となって行います。見学会は、日本橋から始まり、丸の内、日比谷、銀座、汐留といった地区に残る明治から昭和にかけての近代化遺産を丸一日かけて巡ります。最後に浜離宮恩賜庭園から水上バスで隅田川橋梁を眺めながら隅田川上流へと廻り、浅草へと向かいます。普段何気なく過ごしている東京の歴史に改めて目を向けることができる貴重な機会です。また、同じ場所に毎年行くことで、去年とは違った視点や見方に気づき自分の成長を感じられるチャンスでもあります。

※2021年度は、東京大学との共同開催は行わず、法政大学単独での開催となりました。2022年度は東京大学との共同開催を再開する予定です。



浜離宮恩賜庭園と晴海地区

## 4. 『先輩とみる東京の景観』

2020年度に引き続き、「先輩とみる東京の景観」を実施しました。普段のまちあるきとは異なり、修士と学部生が少人数で4つのグループに分かれ、学生自らが見学地やルートを考えて、東京の景観を体感するまちあるきです。見学地の選定にはそれぞれの学生が興味のあるエリアやまちあるきテーマをプレゼンして決定しています。また、予め見学地の概要や歴史・文化について調べ、情報共有することによって、実際にまちに出た際に理解がより一層深まり、事前学習をしたからこそその現地での議論が生まれました。学年の壁を越え、学生が主体となって企画を行い、さらに最後には3年生がそれぞれの見学地についてPPTを用いてプレゼンを行うという学びの多いまちあるきとなっています。



世田谷の暗渠ツアー

東京の地形を読み解く

わたしたちは景観研のひよこ

深川の隠れどころ知ってますか？

### 番外編. 『オリンピア先生との月島まちあるき』

2021年度イタリアから来日されていた、オリンピア・ニリオ先生と一緒に月島を巡りました。月島の昔から残る住宅風景と再開発地区風景の対比や、木造住宅密集地域を遺産として残すか否か、住民のコミュニティ形成などについて一緒に議論しながらまちあるきをしました。



オリンピア先生と議論

## おぎゼミ

### 景観研の母による読書ゼミ

おぎゼミは、おぎさんこと兼任講師の荻原知子さんが主催するゼミナールです。今までの大学生活の中で書いた課題レポートでは指摘されていなかったことをわかりやすく丁寧に解説してくれます。2021年度は卒業論文執筆の下準備として小論文ゼミが行われました。卒業論文執筆にあたって必要となる口語と文語の使い分けや論理的な文章構成能力、正しい語彙力の形成など、すぐには改善できない事項を早期に確認しました。また、昨年度に引き続き論文ゼミ後には輪読ゼミが開催されています。今年度は東大から学生が2名参加しています。題材は『日本人論(南博著)』です。近世以降、日本人論がどのように変わっていったのかを読み解きながら、それを自身で言語化・再構成し、他者に説明する能力を養いました。輪読ゼミの他にも、動画への批評ゼミや東大のお出かけゼミに混ぜてもらうなど年々充実度合いが増しています！



ホワイトボードで解説

東大生も交えて議論

# ゼミ合宿

まだ見ぬ景観を求めて旅に出る

## ゼミ合宿とは

ゼミ合宿は学生が主体となって行う景観研究室最大のイベントです。事前に合宿先に関する知識を蓄え、しおりを作成したのちに現地へと足を運びます。2021年は熊本・阿蘇・高千穂を訪れました。ゼミ合宿は単なる観光旅行とは異なり専門的な目線で風景を読み解くことで、景観を考える感覚を磨きます。また、現地を見て回って美しい風景・ご当地グルメ・現地の方とのふれあいから日常生活では味わえない体験ができるのも魅力のひとつです。

ゼミ合宿に参加することで、これまで知り得なかった世界を知り、新しいものの見方に気づききっかけになるかもしれません。



2021年度のゼミ合宿行程(熊本-阿蘇-高千穂)

## ゼミ合宿までの流れ



## Day 1 熊本



## Day 2 阿蘇



## Day 3 高千穂



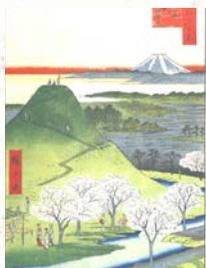
# 論文紹介

## 特徴は分野の幅広さ

大野美代子の代表橋梁作品における設計体制とデザイン思想



名所江戸百景に描かれた江戸の風景体験



空間利用の公共性に着目した千代田区内の橋詰変遷分析



重要文化的景観選定区域内における公共事業設計協議の実状と課題



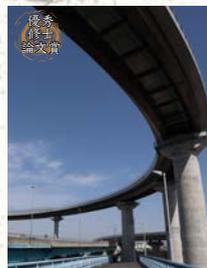
田邊 喬太

大野美代子は1970年代から2000年代に活躍した橋梁デザイナーであり、多くの優れた橋を設計して日本の橋梁デザインをリードしてきた。雑誌記事等を用いた文献調査や関係者へのヒアリング調査を行い、大野がどのような考え方で橋梁デザインを行い、またどのような体制で実現したかを明らかにした。

河川工学的特性からみる左沢の文化的景観  
—最上川舟運を対象に—



「ドボク」マニアによる土木構造物鑑賞行為の社会的意義



東日本大震災の統合型防災集団移転促進事業による地域コミュニティの変化



清水港における港湾と背後地域の連携



堀越 義人

最上川舟運によって成立した河川と町場の関係性が重要である左沢地域の文化的景観を対象に、最上川流域における河川工学的調査及び左沢地域での水理学的な分析を行うことで、最上川舟運を成立させてきた河川工学的特性として3つの条件を明らかにし、守るべき河川工学的特性であると指摘した。

加計 幸陽

ドボク概念の登場により、マニアの土木構造物を鑑賞する新しい価値観が一般社会にも広まりつつある。ドボクの介入による土木のさらなる地位向上のために、文献調査からドボク概念の構造を説明する新たな解釈を行い、これらを基に土木・景観業界の展望を考察した。

坂井 結子

被災者の社会的孤立に関する課題や復興過程におけるコミュニティのあり方の重要性から、東日本大震災における岩手県・宮城県の防災集団移転促進事業実施団地を対象とし、防災集団移転促進事業計画書におけるコミュニティへの配慮事項を把握し、復興過程での地域コミュニティ変化を明らかにした。

前澤 健心

本研究では清水港を対象に港とまちとの連携を、空間・視覚・活動の観点から分析した。空間的連携では街路網の変遷を確認し旧海岸線が重要なラインであること、視覚的連携では水辺を眺望できる場所が限定的であること、活動的連携では伝統的なイベントの開催場所は水辺に限られないことを確認した。

近世以前の佐原テリトリーに関する研究



千葉県佐原地区を対象に、既往の歴史研究から近世の新旧開発による村落や農業発展と地形・水系の関係を整理し、肥料や農産加工に関わる資源調達や交流範囲を確認した。これにより佐原を中心として利根川流域や下総台地の一部をひとつの経済社会領域「テリトリー」とした。

デザイン技術と関連制度からみた街路空間デザインの展開—土木学会デザイン賞受賞作品を対象として—



本研究では街路空間デザインについて戦前からのデザインと施策の関係を整理した上で、土木学会デザイン賞受賞15作品を対象にデザイン技術の変化を分析した。近年歩行者優先・賑わい創出に向けたデザイン展開が進んだことや、地域活性化を求める時代の潮流がデザイン的に現れたこと等を指摘した。

『風俗画報』に現れる明治後半から大正初期の都市風景と民衆の関心



本研究では明治後半から大正初期に発行された雑誌『風俗画報』に掲載された画像や記事を対象に、都市風景の描写と民衆の関心との関係を分析した。その結果、民衆が橋や公園等の近代的施設に関心を持って都市空間を楽しむ一方、自然風景の激変を批判し江戸以来の場所を尊重する様子を明らかにした。

水害被災地における市街化の経緯と要因—千曲市の農地転用に着目して—



近年水害リスクの高い地域における水害が相次ぎ、これらの地域では農地から宅地等への転用がみられる。本研究では令和元年東日本台風で被災した長野県千曲市を対象に、空中写真・農地転用許可申請書等から、水害リスクの高い地域で農地転用が発生した過程とその要因を考察した。

# 学会発表

## 土木計画学研究発表会 / 景観・デザイン研究発表会

2021年度の土木計画学研究発表会は、「地域水系基盤と川まちづくり」のセッション発表者が早稲田大学に集まり、オンライン参加者を含めて議論するハイフレックス開催となりました。景観研究室からは渡邊真由さん（B4）が卒論の途中経過を投稿し、口頭発表を行いました。その場で学外の先生方から意見をいただき、その後の卒論提出に向けてブラッシュアップできた貴重な機会となりました。2022年度は琉球大学での開催が予定されています。

景観・デザイン研究発表会は、オンライン開催となりました。毎年、M1は卒論の内容をブラッシュアップし、M2は修論の途中経過を発表しています。2021年度は景観研究室からはM1が4名、M2が4名の計8名が口頭発表を行い、田邊喬太さん（M2）がポスター発表を行いました。加計幸陽さん（M2）が優秀講演賞を受賞しました。オンラインの開催ではありましたが、質疑応答では多くの先生方からのご意見やアドバイスをいただき、中には発表後にSNSを通じて他大学の教授と繋がるなど、かなり有意義な時間となりました。2022年度は岐阜大学での開催が期待されています。



ポスター発表



田町校舎にて発表

早稲田大学にて発表

# 研究室プロジェクト

## 研究室外での活動

景観研究室の活動は研究室にとどまらず、他学部や他大学、地域の方々との交流・ワークショップ・まちあるきなど多岐にわたります。これらの活動の企画、運営は学生が主体となって行っています。こうした活動の中で、多くのことを学び、さまざまな人と交流することができます。学生のうちに様々な事に携わり、主体的に活動できることはとても貴重な経験となります。ここでは、景観研究室の多様な研究プロジェクトや社会活動を紹介いたします。

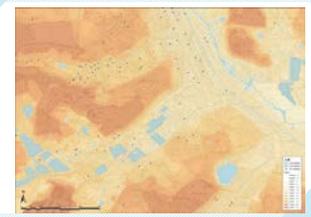
## 江戸東京アトラス研究

江戸東京アトラスは、法政大学江戸東京研究センター(EToS)の研究プロジェクトのひとつです。景観研究室と文学部地理学科米家志乃布ゼミが合同で活動しています。景観研究室では、「名所江戸百景(歌川広重)」を題材に江戸期に描かれていた名所に関する研究を行っています。2021年10月には、「名所江戸百景に関する地図」と「明治初期東京の水の地図」の作成の成果(景観研究室)と、「新撰東京名所図会」や「東京近郊名所図会」など複数の文献資料に関する地図作成の成果(米家ゼミ)を報告し、それに対するディスカッションを行うワークショップを開催しました。ワークショップでは、江戸文化研究の大家である田中優子先生(法政大学前総長)や建築・都市史研究で有名な陣内秀信先生(法政大学特任教授)など多くの方々さまざまな視点から議論をすることができました。



ワークショップにて地図を広げて先生方と議論

地図表現：水域・水田・井戸・DEM



明治初期東京の水の地図



福井先生と米家先生



名所江戸百景



名所江戸百景に描かれた領域

## 郡上八幡水の学校

岐阜県郡上市八幡地区は長良川の上流に位置します。吉田川、小駄良川が合流する恵まれた地形の中で育まれた水の文化を、地区内各所で見る事ができます。郡上八幡水の学校は、水路の魅力や歴史など郡上八幡の魅力を発信する団体として2013年に発足しました。景観研究室は、オープンキャンパスの開催、調査や講演会の運営などに参加しています。今年は3年ぶりの開催で、水路と人々の関係性や文化について学び、イベントのお手伝いを通して、現地の方々楽しく交流することができます。



地元の方たちとスタッフ



アマゴのつかみ取り



調査結果発表の様子

## 最上川文化的景観プロジェクト

令和2年7月、山形県内で発生した豪雨により、最上川中流部などにおいて氾濫が発生しました。これを受けて、最上川の流域治水プロジェクトが進んでおり、山形県大江町百目木地区では堤防計画が立てられています。この地区は重要文化的景観「最上川の流通・往来及び左沢町場の文化的景観」の一部であり、堤防計画について福井先生が町と国土交通省、文化的景観と治水事業の調停をすることになりました。その打ち合わせをする際に、堤防築造についてわかりやすく説明するための伝達ツールとして使うための模型を製作しています。また、大江町や岡田一天さん(法政大学かわ・まち計画研究所特任研究員、株式会社プランニングネットワーク顧問)を交えた打ち合わせに学生も同席し、模型を用いた計画検討の重要性や、事業計画の打ち合わせの実際の雰囲気を体感することができました。



学生が製作した現地の模型



左沢の文化的景観



模型製作の様子



大江町、岡田さんを交えた打ち合わせ

## 沼津市内膳堀プロジェクト



地元住民のヒアリング

福井先生が継続的にアドバイザーを務めている沼津市において、内膳堀という農業用水路周辺の環境整備が計画されています。地元の自治会代表や周辺住民を交えたワークショップの開催に向け、景観研究室から具体的な提案を行います。「沼津市中心市街地まちづくり戦略」や「内膳堀の歴史的経緯」を知るための沼津市建設部の方によるオンライン講義の聴講、現地調査や周辺住民ヒアリングを通して目指す姿を検討するためのフィールドワークをこれまで行いました。実際に現地に赴いたことにより、内膳堀や沼津市の地元住民の交流や、現地の雰囲気を感じ取ることができました。これらを踏まえて学生間で議論を重ね、学生からの提案と市の考えを共有した意見交換、整備方針等を企画提案するための模型製作などを今後行っていきます。



内膳堀の現状①



内膳堀の現状②



内膳堀をメジャーで計測!



現地調査後の振り返り

## 外濠市民塾

外濠市民塾は、外濠周辺の住民や大学生、高校生、民間企業が集まり、外濠に関する知識を共有し、意見を交わすことで外濠の将来について考えることを目的に2013年に発足しました。学生が中心となってワークショップやセミナーの企画・運営、まちあるきなどの活動を行っており、普段関わることのない方との交流ができることが特徴です。2021年度は、外濠の原景や都市計画公園としての外濠の変遷、千代田と江戸城外堀の風景などをテーマに、ゲストをお呼びしてセミナーを開催しました。今年度はコロナも落ち着いてきたため、実際にフィールドに出て活動を活性化させ、外濠市民塾の存在や活動の周知に励んでいきます。活動としては、外濠について改めて学び直すまちあるきや、おぼんカウンターを使う会の定期開催、外濠の水辺に近づいてみるなどを計画中です。ホームページは「外濠市民塾」で検索！



おぼんカウンターを設置してランチ♪



オンラインレクチャーの様子



まちあるきの様子



見学後のWSの様子



おぼんカウンター作成

## 景観研10周年記念プロジェクト

法政大学景観研究室は、2022年3月をもって設立10周年を迎えました。これを機会に、2021年12月には景観研OB・OGを招待し、10周年をお祝いしました。お祝い当日までは、在学生で招待状の作成や、10周年記念用のムービー作成など、良い会になるようあらゆる準備をしました。お祝い当日は、約70名が参加しました。スマに会う先輩方や同期と景観研在籍当時を懐かしむ姿、互いの近況報告で盛り上がる姿、また初めてお会いするOB・OGの方々とお話する姿などがみられ、大変貴重な時間を過ごしました。世代を超えた交流で、景観研究室の縦の繋がりを実感できました。



景観研大集合!!



学生から花束贈呈



招待状のデザイナー部



教員を見守る先生



陣ヶ下高架橋の展示



蓮根歩道橋



横浜ベイブリッジの展示



現地調査をする学生たち

## 大野美代子研究展

大野美代子研究展は、橋梁デザイナーとして活躍した大野美代子の仕事を紹介し、インテリアから橋までをデザインした彼女のヒューマンスケール感覚に迫ることを目的に企画された展覧会です。景観研究室と多摩美術大学美術学部環境デザイン学科、東京大学景観研究室が共同して展覧会の企画・展示を行いました。美術学部と工学部の異なる視点から大野美代子のデザインについて議論し、その成果を模型やパネルなど様々な形でまとめました。分野の異なる学生との交流で、ものの捉え方や表現の仕方に対する思考の違いを体感しました。

## デザインワークショップ・コンペ

仲間と一緒に頑張る

景観研究室では、有志でさまざまなデザインワークショップ (WS) やコンペに参加しています。毎年夏には九州デザインシャレットや造園学会サマースタジオ、秋には景観開花、冬にはまちづくり・都市デザイン競技などが開催されます。これらに積極的に参加することで、対外的評価を得ることができ、自分たちの立ち位置を知ることに繋がります。ここでは、これまでに景観研究室のメンバーが参加したWSやコンペについて紹介します。

### 造園学会サマースタジオ

造園学会サマースタジオは、土木・造園・建築など様々な専攻の学生とチームを組み、2週間の短期集中型で設計提案を行うデザインワークショップです。2021年度は、「『郊外 2.0』森林文化都市・飯能の新たな暮らしを提案し、山・川・街の結び目をつくる」をテーマに専攻の枠を超えた創造的な提案を行いました。



飯能河原



チューターからアドバイス



林業従事者にもヒアリング



最終発表の様子

### 九州デザインシャレット

九州デザインシャレットは、風景デザイン研究会が主催する地域密着型の設計演習プログラムです。前回2021年度は、「場を読み解く」をテーマにオンラインで開催されました。専門家や実務者と交流しながら、設計に必要な検討作業を体系的に学ぶことができるイベントです。



納得がいくまで議論 (2019年度)



最終講評時の様子 (2019年度)



昨年度はオンラインにて開催



萩原の提案は最優秀賞受賞!

### 景観開花。

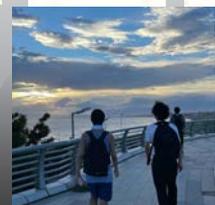
「景観開花。」は、東北大学景観研究室が中心となって運営する土木デザイン設計競技です。2020年度には内容を新たに、2021年度は「Pre-Costruction」というテーマで開催されました。景観研究室からは修士・B4の共同チームで参加しました。



対象地には腰越を選定



修士とB4で共同参加!!



現地調査の様子



景観研チームが作成したパネル

### まちづくり・都市デザイン競技

まちづくり・都市デザイン競技は、都市づくりパブリックデザインセンター主催のデザインコンペです。2022年度は、さいたま市浦和周辺地区を対象に「Society5.0時代に輝く 持続可能な都市のデザイン」というテーマで開催されました。景観研究室からはB4がチームで参加しました。



浦和にて現地調査



B4チームが作成したパネル

# 教員紹介

福井先生に聞いてみた！

## ●景観分野に興味を持ったきっかけは？

学部2年の頃に篠原修先生の講義を聞いたのがきっかけ。建築にも興味があったが、単体の建物より都市全体について学びたいと思った。また、当時はまだ景観が未知の分野であったのも惹かれたポイント。

—もし学生に戻れたら、また同じ研究室を選びますか？

いえ、今なら河川研にいきますね。河川は自然を相手にしないといけない。河川は道路や橋に比べて思い通りにつくれないのが、難しくて面白いと思っています。できたときに一番気持ちよさそうでしょ。



## ●福井先生がアドバイザーをするうえで、大事にしていることは何ですか？

いろんなフェーズがあるけど、前提条件を崩せないか。現段階よりもっと上流側を変えられないか。広い視野をもって、使う人の気持ちを知ることが大事。そのためには、その場所が100年オーダーでどういう風に使われてきたのか、地域の暮らしを知ることだと思います。

—そう考えるようになったきっかけはありますか？

大熊孝先生と出会ったことは大きいかな。基本的な考えは中村良夫先生の本から学びましたが、大熊先生との出会いによってその土地のなりたちや歴史の重要性を改めて感じました。そこに暮らす人に対する時間感覚は河川工学者ならではの感銘を受けました。多くの人との出会いが今に生きています。

## ●景観研究室の目標を教えてください。

たくさんあるんだけど、(創設から)10年経ってようやく体制が整ってきたから、次の10年はプロジェクトなど研究のフィールドをつくるのが目標。あとは分野に関わらず、多方面に研究室のネットワークが広がってほしい。困ったときに助けてくれる強い人脈や関係性を大事にする集団にしたいと思っています。

## ●今行きたい場所はありますか？

やっぱり四十万川と郡上八幡は行きたいかなあ。それ以外を選ぶとしたら、イタリア！(被せ気味に)。以前訪れたヴェネツィアが良かったのと、コロナで長期出張の計画が頓挫したので。次にイタリアを訪れる際はトスカーナに行きたい。トスカーナの起伏のある地形や山に囲まれた田園風景に触れたいです。あとは学生とおいしい食べ物を食べて、おいしいお酒を飲みたいです。

出身：東京都 年齢：52歳 血液型：AB型

経歴：清水建設株式会社

→東京大学 大学院工学系研究科 社会基盤学専攻 助手

→国土交通省 国土技術政策総合研究所 環境研究部緑化生態研究室 研究官

→東京大学 大学院工学系研究科 都市持続再生研究センター 特任准教授

→法政大学 デザイン工学部都市環境デザイン工学科 教授

好きな漫画：『3月のライオン』 学生時代好きだったアイドル：西村知美

好きな映画：三谷幸喜脚本 『12人の優しい日本人』



# 大学院とは

大学院ってどんなところなの？

現在、景観研究室には修士は12名在籍しており、他研究室や、他大学から来た人もいます。そんな景観研の大学院についてご紹介します。

## 景観研の大学院の生活



大学院での活動は、授業や論文だけではなくありません。景観研究室では、多様な対外活動に加え、TAや設計事務所でのアルバイト、まちあるきの実施、仲間や先輩後輩との議論、部活動など様々な活動をしています。これらの多くの活動に携わっていくことで充実した2年間にすることができます。

## 大学院に進学して得られるもの

大学院進学の魅力として右の5つの要素があげられます。これらの能力は座学が多い学部4年間の授業では、十分には身につけられません。大学院では、その枠を超えた活動や他大学との活動がメインになってくるため、論理的に考える力や、デザインする能力、幅広い知識だけではなく、自ら活動に飛び込んでいく積極性やコミュニケーション能力などが身に付いていきます。もちろん就職にも大幅に有利になります。大学院の進学をお待ちしております！！



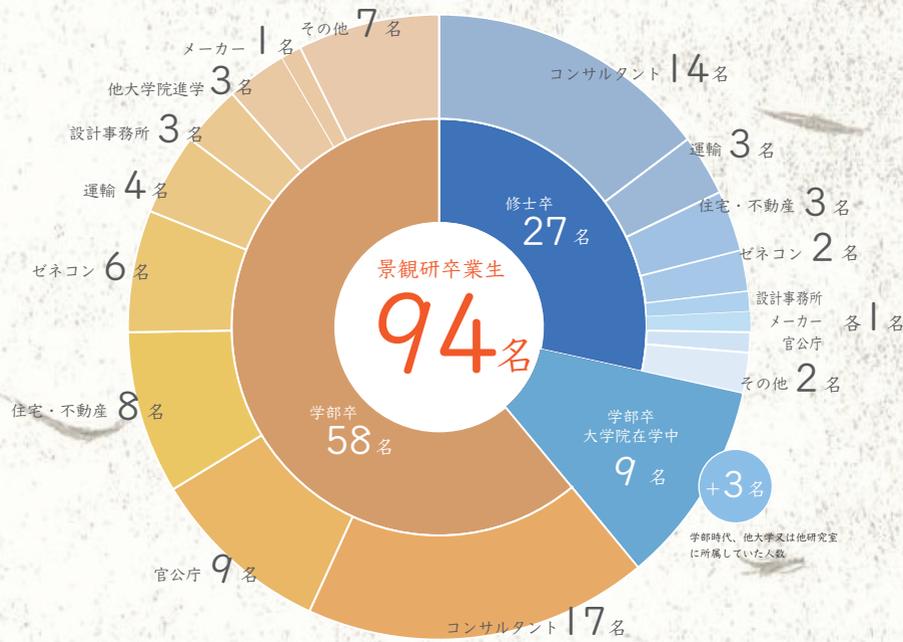
## 大学院に入るには？

- 学費** 年間¥970,000 (学部よりも4割安い！)
- 奨学金** 日本学生支援機構奨学金 法政大学独自の奨学金 学外奨学金 など
- 受験方式**
  - 一般入学制度 (成績上位1/2は面接のみ！)
  - 学内推薦入学制度
  - 学内特別推薦制度 (成績上位1/4は試験なし！)

# 卒業生の進路

景観研究室の卒業生は、あと少しで100人!

景観研究室は昨年10周年を迎え、卒業生は計94人に上ります。その進路は、学部・修士卒ともにコンサルタント業界が最も多くなっています。また、大学院進学率も他研究室と比べると高いことが特徴的です。研究室での活動を経て自分の進路を見つめなおし、大学院進学を決意する学生もいます。



	学部卒	修士卒
進学	法政大学大学院、東京工業大学大学院、熊本大学大学院	—
コンサルタント	オリエンタルコンサルタンツ、建設技術研究所、ジオサーチ、セントラルコンサルタント、乃村工務社、東急設計コンサルタント、東京建設コンサルタント、日本エンジニアリング、総合技術コンサルタント、国際開発コンサルタント、中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京、復建エンジニアリング、三井共同建設コンサルタント、トニエチコンサルタント、三井住友建設、玉野総合コンサルタント	アイ・エス・エス、オオバ、オリエンタルコンサルタンツ、建設技術研究所、大日本コンサルタント、中央復建コンサルタント、パシフィックコンサルタンツ、ハードビートプラン、東京建設コンサルタント
住宅・不動産	UR都市機構、一条工務店、住友不動産シスコ、三菱地所リアルマネジメント、ダカラレーベン、大和ハウス工業、NTT都市開発、東急コミュニティー	UR都市機構、大和ハウス工業
官公庁	千葉県庁、茨城県庁、静岡県庁、福岡県庁、板橋区、草加市、横浜市、千葉市、さいたま市	流山市
ゼネコン	鉄建建設、大成建設、五洋建設、前田建設工業、戸田建設	鉄建建設、三井住友建設
設計事務所	類設計室、DO設計、Tetor	日本設計
運輸	小田急電鉄、西武鉄道、中日本高速道路、東海旅客鉄道	東日本高速道路、京成電鉄
メーカー	LIXIL	ヨシモトホール
その他	Sony Music Artists、東京ガスリクリビング、オリエンタルランド、三井化学東セロ、動画クリエイター、ちばぎんコンピューターサービス	東芝、るくバレエ教室

# 卒業生インタビュー

2022年度の3年生は12期生! 景観研のOB・OGに話を聞いてみた!

## 渡邊 翔太さん / 第3期生 (2016年度修了)



就職先: パシフィックコンサルタンツ  
仕事内容: 公園設計

### ●景観研究室で得た能力

言語化! 今、携わっている公園設計の仕事は「なぜ、この木を植えたのか」などお金や数字で示しづらいことの説明が要求されます。色々なものを見たり聞いたりしないと言葉は蓄積されません。景観研の強みでもある多くのプロジェクトや人とながらる機会があることを活かして、現場に出て設計者や管理者等異なる立場のお話を伺い、蓄積を増やすことが大事です。

### ●学生に戻ったらやってみたいこと

もっと本を読めばよかった。読書量は知識の差に出ます。景観研の入門書や自分の興味あるジャンルでも良いので、読むトレーニングをもっとすべきでした。

### ●3年生へひとこと

決して楽する研究室ではありません! こんな経験がしてみたいと少しでも目的がある人が活きる研究室です。自分なりの考えを持ったうえで福井先生をうまく使いましょう。

## 外山 実咲さん / 第5期生 (2018年度修了)



就職先: 大日本コンサルタント  
仕事内容: 橋梁の計画

### ●景観研究室ってどんなところ?

学内外の交流が多い研究室。もしかしたらキラキラしていると思われているかもしれませんが、研究自体はかなり泥臭く、根性のいることも多々あります。詳しくは先輩まで!

### ●福井さんの好きなどころ

真摯で紳士などころ。学生思っていて、お酒の席が好きなどころ。いつまでも若いところ。スマートでバワフルなところ。一番忙しいはずなのにいつも楽しそうなどころ。

### ●景観研究室で得た能力

わかりやすい資料の見せ方、理系の文章の書き方。社内の先輩よりもこだわりあり!?

### ●3年生へひとこと

夢と希望だらけの3年生! 景観研究室で残りの学生生活を充実させたいそのあなた! 景観研究室で、未来を切り開いてってください。その環境が整っているはずですよ。最後に、配属してから1年ちょっとならば吸収しきれないことばかりです。ぜひ修士への進学をしてみれば??

## 阿部 遼磨さん / 第7期生 (2020年度修了)



就職先: 独立行政法人都市再生機構  
仕事内容: 区画整理事業の推進、再開発事業の検討、土地の有効利用

### ●景観研究室で学んだこと

大路を歩く力。景観研の研究は大筋を描いてもらったから自分で歩き方を考えて、寄り道も回り道もたくさんします。辛いけど楽しい。自ら学んで考えて、時に支えてもらいながらなんとか前に進んでいく。この経験を活かして、社会に出た後も自分から動くことができます。

### ●景観研究室ってどんなところ?

みんなで物事を進める機会が多くあるところ。研究室内だけでなく外部の先生や専門家と会議や作業を一緒にできる面白さがあります。

### ●3年生へひとこと

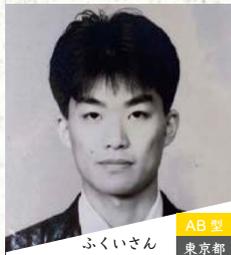
もちろん院には行った方がいいです。ただの学部の延長ではなく、やりたいことを探しながら成長できる「ゆっくり自分と向き合える」時間です。2年間の目標を作るとモチベーションの維持に繋がりますよ。私の場合は、知らない街をたくさん見ました。事前にはまちの成り立ちや骨格を学んでから歩くとその土地で大切にされているものや何を目指しているのかを肌で感じるができます。こんな贅沢な時間の使い方ができるのはやっぱり学生だけ!



# メンバー紹介

2022年度の景観研究室には計25人が所属!

教員・スタッフ



**AB型**  
ふくいさん  
東京府  
教授  
**福井恒明**

●自己紹介  
対面で会うこと、現地に行くことの大切さを再認識しています。

●今年目標・意気込み  
イタリア渡航準備。



**A型**  
ogi-(オギー)  
群馬県  
兼任講師  
**萩原知子**

●自己紹介  
景観研のビッグママ。時折見せる笑顔に心癒されます。

●今年目標・意気込み  
信長の野望の地方制覇。景色に何か出す。



**A型**  
ひでや  
岩手県  
兼任講師  
**福島秀哉**

●自己紹介  
<https://www.kfa.co.jp/> or <https://researchmap.jp/Fukushima>

●今年目標・意気込み  
会社をつぶさない。



**O型**  
ゆうちゃん  
千葉県  
教育技術嘱託  
**佐瀬優子**

●自己紹介  
言葉、風景、音楽、美味が好き。それらの掛け合わせはもっと好き。

●今年目標・意気込み  
「不思議の国のアリス」の原著を読み通す。

修士2年生



**O型**  
こーしーろー  
新潟県  
**齋藤浩志郎**

●自己紹介  
景観研専属カメラマンと化してる。あと鉄道マニア。

●今年目標・意気込み  
対面でしかできない体験で学びまくる。



**A型**  
しむはる  
神奈川県  
**志村遙奈**

●自己紹介  
他ともに認めるジャニーズ好き。辛いものには目がない。

●今年目標・意気込み  
推しごとを充実させる! 毎月良い風景を見に行く!



**AB型**  
はぎ  
東京都  
**萩原隆太**

●自己紹介  
声の大きな素直な子。

●今年目標・意気込み  
刺激を求めて、コツコツ生きる。



**B型**  
まおにい  
福岡県  
**原田真央**

●自己紹介  
毎日元気に頑張っています。

●今年目標・意気込み  
超えていこう、歴代の先輩たち。

修士1年生



**O型**  
けんご  
埼玉県  
**神山謙悟**

●自己紹介  
山と温泉と豚が大好き。スイスのユングフラウにいつかは行きたい!

●今年目標・意気込み  
何事も挑戦! 研究室内で珈琲好きを増やす!



**?型**  
あらにい  
神奈川県  
**福井新**

●自己紹介  
性格は狭くて深い派?

●今年目標・意気込み  
社会に出れる人間になる。



**A型**  
ふくちゃん  
千葉県  
**福井昂平**

●自己紹介  
好きなブランドはユニクロとGUとマルジェラです。

●今年目標・意気込み  
生活サイクルの安定・何事にも積極的に。



**O型**  
けそしそ  
静岡県  
**前澤健心**

●自己紹介  
地元大好きです! すぐ帰省しちゃう。サウナに最近ハマってます。

●今年目標・意気込み  
メンタル強くする。大塚屋3軒台目指す。

修士1年生



**B型**  
けーと  
東京都  
**森啓仁**

●自己紹介  
背が高くても黒い服ばかり着ているけど普通の人です。

●今年目標・意気込み  
コミュニケーション能力の向上。



**?型**  
りお  
アメリカ  
**山田莉緒**

●自己紹介  
アメリカは生まれただけです。I can't speak English.

●今年目標・意気込み  
野菜部部長として植物の栽培頑張ります!



**A型**  
まゆゆ  
千葉県  
**渡邊真由**

●自己紹介  
料理を作って人に喜んでもらうことが好き。アウトドア派。

●今年目標・意気込み  
人脈を広げる、やりたいことを見つける。

学部4年生



**B型**  
あびしょう  
千葉県  
**安孫子翔**

●自己紹介  
身長は小さいですが、心は大きい有名な安孫子です。

●今年目標・意気込み  
研究を最後まで頑張る。



**B型**  
あべかな  
神奈川県  
**阿部花奈子**

●自己紹介  
日々かわいいものに癒されて生きてます。

●今年目標・意気込み  
メンタル強い人になる! 後悔しない1年にする!



**AB型**  
はたぞむ  
神奈川県  
**大簇望**

●自己紹介  
スポーツ・ゲーム・歌い手好きです! 周りの人から天然と言われがち。

●今年目標・意気込み  
健康で前向きに、全力で頑張っていきます!



**A型**  
おさな  
千葉県  
**長田奈々**

●自己紹介  
よさこいやってます。景観研の野菜の成長を見るのが楽しみです。

●今年目標・意気込み  
先輩たちと議論ができるようになりますように!

学部4年生



**A型**  
かもじゅん  
群馬県  
**鴨潤矢**

●自己紹介  
いつも口元が寂しい男の子。

●今年目標・意気込み  
よく聞き、よく見て、よく触れる。



**B型**  
けんてい  
埼玉県  
**川上健太**

●自己紹介  
ライブのチケット外れたことがない、強運の持ち主です。

●今年目標・意気込み  
自分のデスクをガチャガチャで埋め尽す。



**A型**  
まつお  
神奈川県  
**松岡明佳里**

●自己紹介  
楽しいこと、寝ること、食べるのが大好きです。

●今年目標・意気込み  
ギリギリ生活脱却。



**A型**  
しん  
栃木県  
**吉本慎**

●自己紹介  
日向坂46が大好きで、ライブがあれば全国飛び回ります。

●今年目標・意気込み  
やる事は後回しにせず、計画的に何事も取り組む。



法政大学

# 景観研究室 2022

2022年 7月発行

発行者

法政大学 デザイン工学部 都市環境デザイン工学科

法政大学大学院 デザイン工学研究科 都市環境デザイン工学専攻 景観研究室

〒102-8160 東京都千代田区富士見 2-17-1

編集責任者

2022年度 景観研究室修士1年

神山 謙悟 福井 新 福井 昂平 前澤 健心 森 啓仁 山田 莉緒 渡邊 真由

各種リンク



公式ウェブサイト



フェイスブック



インスタグラム



外濠市民塾  
公式ウェブサイト

